

株式会社 松樹

京都府城陽市寺田林ノ口2番地23-202号

【営業品目】

- ・シート防水工事
- ・FRP 防水工事
- ・シーリング工事
- ・外壁改修工事
- ・外壁調査全般
- ・ウレタン防水工事
- ・アスファルト防水工事
- ・注入工事
- ・外壁塗装工事



取締役 松本 亮

松尾 伴内 タレント

「主役は従業員たち」という意識を常に持ち 次期社長として家業を拡大に導きたい

2013年に設立された防水・シーリング工事会社「松樹」。松本取締役は創業者である父親が脳梗塞で倒れたことから30歳の時に後継を決意し家業に入社した。現場での心停止という人生観が変わるターニングポイントを経て、今も後継に向けリーダーとしての成長を続けている。本日はそんな取締役に、松尾伴内氏がお話を伺った。

——松本取締役の社会への第一歩目は、どのようなお仕事から？

フリーペーパーの営業です。そこから「頑張った分だけ報酬が貰える業界に身を置きたい」との思いを抱き、24歳で『ネットヨタ』に就職しました。そちらでは8年間の勤務期間の中で、4年連続一位という営業成績を収めることができました。入社5年目には係長に就任しまして、この社歴で係長に抜擢されたのは当時その会社で私が初めてだったそうです。

——素晴らしい実績です。相当な努力を重ねられたのでしょうかね。



私は学業を終えた後俳優を目指して上京していた時期があり、社会人として周りより遅れていた自覚がありました。そのコンプレックスが私を後押ししてくれたのです。働き方改革が進んでいなかった当時、通常の3〜4倍の努力をしようと思えばできる環境だったのも大きいですね。

——『ネットヨタ』さんではご自身の立場を確立しておられたと思うのですが、『松樹』さんに入社された経緯とは？

当社は父が2013年に設立した会社で、主に防水・シーリング工事を手掛けています。仰る通り前職で好調だったこともあり家業に入る気はなかったのですが、ある時父が脳梗塞で倒れてしまつて。「後継ぎになれるのは私しかない」という思いが芽生えたことや、働き方改革により前職の業務上の規制が厳しくなってきたこともあって、後継を見据え家業に入ることにしたのです。

——取締役は防水工事の経験はおありだったのですか。

父が防水工事会社に勤めていた時、そこでアルバイトをさせていただいたことはありましたが、ほとんど一からのスタートでした。ですから家業に入ってから職人の世界ならではの厳しさを痛感する日々が続きました。そんな中で、私の人生にとっての大きなターニングポイントが訪れたのです。

——ほう。詳しくお聞かせください。

現場で心停止し、1カ月間の入院を経験したのです。土地勘のある大工さんがたま



「松本取締役のお祖母様は、なんと日本で2人目の女性一級防水施工技能士なのだとか。お祖母様から貰った『人をよく見て良いところを伸ばしなさい』という言葉は、今でも仕事の上での指針となっているそうです」

GUEST COMMENT

たま近くにいらつしゃつたことで一命を取り留めることができましたが、処置が遅れていたら二度と大切な人たちに会えなかつたかもしれません。それ以来、「自分は生かされている」という意識を常に持つようになり、従業員との向き合い方を見直すようになりました。

——どんな風に向き合うようになられて？

私自身立つことは好きなのですが、仕事に関しては従業員が主役で、私は脇役でいい。仕事を「やってもらっている」という考えを持って、従業員たちと接しているんです。父は3年後を目処に引退する予定とのことで、私が二代目になっても今の姿勢を貫き続けたいですね。

——最後に、今後のビジョンを。

目下、知名度向上のための取り組みとしてSNSをうまく活用していく構えです。そして5年以内に経常利益一千万円を実現したいと考えています。また、業界の3Kのイメージを払拭し、日が当たりにくい職人の方々の地位を向上させる取り組みにも注力できればと思っていますね。